

平成23年度岡山県食品衛生監視指導計画に基づく 監視指導結果（概要）について

食品衛生法の規定により定めた「平成23年度岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき実施した監視指導、試験検査、自主管理の推進、リスクコミュニケーションの充実についての結果は、次のとおりです。

なお、この結果は県の計画に基づいたものであり、岡山市分及び倉敷市分は含まれておりません。

1 監視指導結果

(1) 監視指導結果

飲食店、食品製造施設、学校給食施設等を対象に施設・設備の衛生管理、食品の衛生的な取扱い等の指導を実施した。

対象施設数	監視目標数	監視指導結果	目標達成率(%)
23,942	20,921	21,509	103

(2) 腸管出血性大腸菌、カンピロバクター対策

5人が亡くなった焼肉チェーン店での食中毒事件を契機に施行された生食用食肉の規格基準を周知するとともに、生食用牛肝臓の提供自粛と飲食店等における加熱調理時の十分な加熱の徹底を指導した。

監視指導件数

飲食店営業	食肉処理業	食肉販売業	そうざい製造業	計
576	23	326	13	938

2 試験検査結果

(1) 収去検査^{注1}

検査目標検体数	検査実施検体数	違反件数
3,000	3,603	7 ^{注2}

注1：収去検査とは、食品衛生法に基づき、販売の用に供する食品等は無償で譲り受け、添加物や残留農薬の量、細菌の数等を検査することです。

注2：違反の内容は、アイスクリーム類の規格基準違反4件（乳脂肪分不足1件、大腸菌群陽性3件）、野菜の残留農薬の基準違反1件、魚介類加工品から腸炎ピブリオの検出1件、生食用かきの養殖海域海水の基準違反1件であり、原因究明及び再発防止の指導等を実施した。

(2) 買上検査

検査区分	検査項目	検査目標検体数	検査実施検体数	検査結果
有害物質モニタリング調査	重金属・農薬・TBTO・PCB	62	62	すべて適
遺伝子組換え食品検査	遺伝子組換え食品	30	32	すべて適
アレルギー物質の検査	アレルギー物質	20	20	すべて適
輸入冷凍食品等買上検査	有機リン系農薬・動物用医薬品・おもちゃ	90	90	すべて適
輸入原材料等買上検査	有機リン系農薬	30	30	すべて適

(3) 腸管出血性大腸菌、カンピロバクター対策

県内に流通する食肉、野菜等を対象に、腸管出血性大腸菌、カンピロバクターの検査を実施し、牛レバー、鶏タタキ、鶏ミンチからカンピロバクターを検出した。

検体数	腸管出血性大腸菌 O157検出	カンピロバクター 検出
196	0	7

(4) 食品苦情及び食中毒発生時の原因究明のための検査

	検査実施検体数
食品苦情検査	58
食中毒検査	53

(5) と畜検査

区分	検査頭数	全部廃棄頭数	一部廃棄頭数
牛	4,582	139	2,052
馬	4	0	0
豚	395	0	157

(6) BSE等スクリーニング検査(全頭検査)

検査頭数	陰性	要確認検査
4,582	4,582	0

3 自主管理の推進

広域流通食品等事業者を中心に自主管理体制の整備等について指導を実施した。岡山県食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例に基づく自主回収の報告が6件あり、回収措置が適正に行われるよう指導した。

4 リスクコミュニケーションの充実

食品の摂取によって人の健康に悪影響が起きるリスク(危険性)について正しい理解を広めるため、講習会等を通じた情報提供、消費者、食品等事業者、行政相互間での情報交換、意見交換等を実施した。

(1) 食の安全相談窓口での対応 2,469件

(2) 衛生講習会の開催

対象者	実施回数	参加人数
営業者・従事者	70	2,739
集団給食従事者	25	1,493
一般消費者等	60	2,425
計	155	6,657
体験型講習会(再掲)	54	1,982

(3) 視察型研修の実施

(社)岡山県食品衛生協会への委託による事業 6回(277人)

(4) 食の安全サポーター拡大事業

登録者数：65団体

配信回数：9回

(5) リスクコミュニケーターの養成、育成

講座、研修会等の開催：8回

参加者数：110名